

歴史と伝統のある大旭支部長を前任者の小倉秀夫氏の後任を受け、平成25年4月から4年間、役員の皆様を始め会員各位のご支援・ご協力を頂きながらその職責を果たすことが出来ました。心から感謝申し上げます。支部長就任以来、事業推進に当たりましては、これまでの実績を踏まえ大旭支部の地域特性を生かしながら活動目的に沿った福祉活動を展開してまいりました。特に印象に残った事業は、学校当局と一体となって推進した「三世代ふれあい事業と新たに立ち上げた「友部第二小学校区安全ボランティア」などが心に残ります。これからは小野支部長を中心に益々のご発展を心からご祈念申し上げます。退任のあいさつといたします。



前支部長
菅原 毅

更なるご発展を祈る
た川澄真二郎氏、渡辺米子氏、そして新たに新進気鋭の狩谷博道氏が推挙されました。忌憚のない意見を交換しながら、支部の運営に努めてまいる所存です。

平成28年度 決算報告

自：平成28年4月1日
至：平成29年3月31日 単位：円

収入の部			付記	
項目	予算額	決算額	予算比	
繰越金	609,994	609,994	0	
会員会費還元金	1,000,000	989,500	△ 10,500	社会福祉協議会
福祉コミュニティ	50,000	50,000	0	社会福祉協議会
広報助成金	100,000	98,950	△ 1,050	社会福祉協議会
寄付金	5,000	0	△ 5,000	
雑収入	5,000	22,012	17,012	サマーフェスタ・預金利息
合計	1,769,994	1,770,456	462	

支出の部			付記	
項目	予算額	決算額	予算比	
会議費	30,000	21,216	△ 8,784	総会・役員会経費
総務費	30,000	30,000	0	役員活動費
通信費	15,000	15,000	0	書類作成・諸事業の案内・連絡費等
消耗品費	10,000	1,498	△ 8,502	事務用品(コピー用紙他)
事業費	960,000	824,616	△ 135,384	
(事業費内訳)				
児童育成費	150,000	85,364	△ 64,636	子供会助成 8団体：69,100 太陽・八幡・旭台・旭台団地 旭崎・旭平・青空・矢野下 球技大会祝金・他：5,000 育成会(懇談会)：11,264
高齢者クラブ助成	80,000	80,000	0	8団体：10,000円/団体 寿会・若狭山・ときわ会・三友会・ 新生会・ふれあい・睦会・ひので会
グラウンドゴルフ大会	40,000	31,094	△ 8,906	参加費・賞品代：20,900 昼食代：10,194
にじの会活動費	130,000	111,466	△ 18,534	総会費：35,026 研修会費：76,440
地区ふれあい交流助成	130,000	85,000	△ 45,000	5地区開催 八幡連合・旭台団地・旭平2区 旭台区・旭崎1区
在宅福祉活動費	380,000	381,692	1,692	配食サービス【約40食/回】：269,187 80歳以上食事会：83,505 在宅介護者記念品：29,000
ふれあい交流会費	50,000	50,000	0	友二小三世代交流
研修費	110,000	66,564	△ 43,436	足利学校・ばんな寺・佐野厄除け巡り
支部広報発行費	190,000	190,000	0	3回/年・他(諸経費)
負担費	4,000	2,500	△ 1,500	ボランティア保険
予備費	420,994	0	△ 420,994	
合計	1,769,994	1,151,394	△ 618,600	

平成28年度 収支
収入合計：1,770,456円 - 支出合計：1,151,394円 = 差引残高：619,062円
収入・支出差し引き残高 619,062円は次年度へ繰越する。

新役員選出し新たな船出

平成29年度支部代議員会

平成29年5月21日、笠間市友部福祉会館で代議員会が開催され、平成28年度事業報告・収支決算報告と、平成29年度事業計画・収支予算が原案どおり議決されました。

役員改選では、支部長に小野武氏、副支部長に川澄真二郎氏・狩谷博道氏・渡部米子氏が、選出されました。

大旭支部長を拜命しました



新支部長
小野 武

今回の大旭支部代議員会におきまして、大旭支部長に推挙されました小野武であります。これまでは菅原毅前支部長のもとで副支部長として仕事を手伝ってまいりました。これからは大旭支部長として支部の発展に力を尽くす所存であります。そのためには役員の皆様はじめたくさんの方々の方々からのご意見を頂きながら、地域特性を生かした福祉活動を展開してまいりたいと考えております。幸いにしまして副支部長には、これまでも共に活動を進めてき

平成29年度 笠間市社協大旭支部 役員名簿

役職	氏名			
支部長	小野 武			
副支部長	川澄真二郎 狩谷 博道 渡辺 米子			
会計	納 米次			
監事	菅原 毅 井川小夜子			
支部委員代表	荻津 慶一(矢野下藤株) 坂入 重夫(大沢上2) 平林 英男(大沢下2) 今野 豊雄(若狭山団地) 大垣 茂(旭平1) 青木 清(旭台団地4)			
部門委員代表	平林 英男 菊池美智子 鈴木 勝義 青木 清 菊池 三男 田中 敬一 渡辺 米子 伊藤由美子 吉田 正次 調 朝幸			
支部委員(区長)	荻津 慶一(矢野下藤株) 米川 武史(矢野下下郷) 矢部 厚(大沢上1) 坂入 重夫(大沢上2) 村社 仁(大沢上3) 狩谷 博道(大沢下1) 平林 英男(大沢下2) 園部 正治(八幡台1) 鈴木 茂(八幡台2) 佐藤 秀夫(原団地) 伊藤 芳郎(清住町) 今野 豊雄(若狭山団地) 木村 昭二(旭台) 酒井 佳治(アキスツター旭台) 石崎 圭一(旭台団地1) 余村 英之(旭台団地2) 浦井 靖夫(旭台団地3) 青木 清(旭台団地4) 大垣 茂(旭平1) 山田 保治(旭平2) 高橋 済(旭平団地) 白田 良夫(緑ヶ丘団地) 佐竹 克文(旭崎1) 永井 英(旭崎2) 井上 通(サンステージ区) 川村 賢祐(矢野下本郷)			
総務委員	◎平林 英男 ○菊池美智子 荻津 慶一 鈴木 重雄 園部 正治 木村 昭二 酒井 佳治 浦井 靖夫 榎 涉 川村 賢祐 佐竹 克文 石崎 圭一 鈴木 茂 辻 睦美			
高齢・身障員	◎鈴木 勝義 ○青木 清 坂入 重夫 成田 恵子 山田 保治 園部 敏子 寺門 常康 大垣 茂 齋藤 清 今野 豊雄 阿部 幸雄 大和田 勉 佐々木 博			
児童・環境員	◎菊池 三男 ○田中 敬一 米川 武史 村社 仁 余村 英之 矢部 厚 佐藤 秀夫 伊藤 芳郎 白田 良夫 井上 通 高橋 済 永井 英 巻田 吉史			
女性部(にじの会)	◎渡辺 米子 ○伊藤由美子 園部 弘子 堀江 幸子 大澤わか子			
広報委員	◎吉田 正次 ○調 朝幸 岩田 幸雄			

部門委員：◎は委員長、○は副委員長

おおあさひ支部報

第112号

笠間市社会福祉協議会大旭支部
 発行 大旭支部長 小野 武
 編集 大旭支部広報委員会
 発行日 平成29年8月10日
 印刷 有限会社大塩企画

高齢者の居場所作り体験 女性部が研修視察

7月17日女性部（渡辺米子部長）5名が小野武大旭支部長の参加を得て、笠間市社協池野辺支部の運営する「いけのベサロン」を訪ねました。研修視察に先立ち、井口清池野辺支部役員の歓迎の言葉を受けて、小野武支部長から「当支部も女性部を中心に、来年度の立上げに向けて勉強に来ました。苦労話なども含めて、教えて頂きたい」と、あいさつ。「いけのベサロン」は、笠間市社協池野辺支部の事業として平成27年度に活動を始め、坪来（つばらい）久子副支部長以下18名の女性会員が中核となり、地区の高齢者の方々のために居場所の提供がされています。（当日の参加者：高齢者30名）

◆研修視察概要(含む聞き取り)
 一、健康管理の事例
 ・スクエアステップ体操。
 ・保健師の健康相談。
 二、いこいの場の現況

・お茶会や、会員手作り昼食を食べながらの、話し合いなど。
 三、課題は？
 ・男性参加者を増やし、子育て世代を加えた総合的な居場所づくりを目指します。

◆意見交換会

研修視察を終えた女性部の参加者といけのベサロンの会員は、運営方法の苦労話や利用者の方や地域の方々からの感謝の言葉の紹介など、実際に福祉活動をしている方同士ならでは、具体的な話し合いが活発に交わされていました。研修を終え渡部米子部長は、「皆様の活動を、見学や体験をさせていただき、ありがとうございました。私達も、どうぞございました。サロン開設に向けてがんばりましょう。」とお礼のあいさつの際に、研修視察を終えました。



活発な意見交換会(左:池野辺社協会員・右:当支部女性部)

非常時に備え防災訓練 救急・非常食を学ぶ

旭台団地4区自主防災会

7月9日、旭台団地4区ふれあいセンターで団地住民40名が参加して、防災総合訓練が行われました。

開会式では、青木清会長があいさつにたち「暑い中、大勢の方々に参加され、ありがとうございます。非常時に備えしっかりと学んでください」と激励されました。

防災訓練の最初は、消火班による消火器を使った初期消火訓練で、前方に置かれた的に向かって放水しました。しかし、子どもは火を消すことより、火元からいち早く逃げてくださいと指示がありました。

炊き出し訓練では「支援の会」会員の指導を受け、自分の食事（ポリ袋でつくる非常食）づくり挑戦しました。

屋外での訓練が終了してから、ふれあいセンター内へ移動し、日本赤十字社の指導員

による家庭における救急法の講習が行われました。内容は、三角巾の使い方、のどづまりの対処法（異物のほき出させ方）、家庭にある竿と毛布を使った担架づくりなど、実技を交えた説明がありました。

お昼になると、午前中に準備した非常食ができ上がり、カレーライスと蒸しパンをおいしくいただきました。

真夏の暑い日でしたが、参加者は日頃から非常時に備えた訓練が大切であることを学びました。講習会を重ねることによって、災害時にスムーズに団地住民が一丸となつて対応したいとの意識が感じられました。



ポリ袋を使って非常食をつくる

あとがき

友部第二小学校開校以来、毎年行われて来た「友部第二小学校区子ども会球技大会」が、メンバーの減少で今回の開催が不可能となりました。毎回の大会は選手と指導者・応援席の熱気が一体化し、夏の風物詩の感がありました。これまで「尽力された子ども会育成会関係者・指導者の方々に感謝するとともに、再び児童の元気な声を聴くことが出来ず、期待いたします。

広報委員の紹介

- 委員長 吉田 正次
- 副委員長 朝幸
- 委員 岩田 幸雄

広報委員を募集しています

大旭支部では、広報紙を年3回発行しています。仕事の内容は、企画・取材・編集などの作業を通じて、支部の活動状況を会員の皆様に報告することが主な事業です。

広報紙作成に興味のある方は、是非参加してください。連絡を、お待ちしております。

☎09025471280 吉田

子ども会育成に重点 集団・個で生きる力を

平成29年度、子ども会育成会代表者と大旭支部との懇談会が、7月1日、笠間市友部福祉会館に支部内7つの子ども会々々長、支部役員、区長、民生委員と友部第二小学校の長堀成子校長先生など約40人

が参加して開かれました。

今年度から、新支部長に就任した小野武支部長が「子ども会の育成に重点をおき、いろいろな問題を支部として共有しながら、学校と地域が一緒になって、コミュニケーションが図られるよう、また、地域とのかかわりかたなど、支部運営に努めていきたい」と就任のあいさつをされた。

まず、各子ども会代表者から会の行事や現状が報告されたが、高学年になると子ども会を抜ける子がおり、八幡台子ども会などは昨年12月で解散するなど、子ども会の存続が深刻ようになってきている。毎年、子ども会として同じような行事のくり返しのようにだが、リクリエーションや稲刈りなど、地域の特色も見受けられた。

しかし、今年度から、笠間市子ども会の球技大会（ソフトボール）に参加する、二小学区内での子ども会がなくなったとの報告を受け、参加した委員から、高学年になると子ども会を抜ける児童が見受けられるが、との質問や意見にたいし、他の委員から、親が子どもが高学年になると役員になるのはいやで、子ども会をぬけてしまうことが多くいのではないかと。子ども会活動は集団生活の一端を担っており、地域の子どもの会活動に、関心をもてるようにしていかなければならないのではないかなど、多くの質問がありました。

いろいろな意見を聞いて、長堀成子校長は「子ども会は集団で生きていく力・個で生きる力を養うところ、意識して集団生活を学びながら、学校教育、家庭教育、そして地域の人たちの社会教育を学びながら、コミュニケーションを図ってほしい。子ども会の楽しさや、集団生活の楽しさなどを示し、親御さんたち



子ども会代表者にアドバイス

に、子どもたちのいきいきしている姿を見せていくのも方法かも知れません」とアドバイスし、子ども会代表者を励まされました。

最後に、川澄真二郎副支部長から、貴重な意見が多く出されましたが、支部として何ができる、なにをすべきなのか、参考にさせていただき、支部運営に取り組んでいきたいと思えます。として懇談会を締めくくりました。



集団生活の大切さを学んでほしいと……長堀校長先生